

光る値打ち

日本共産党の議席

大阪市下

日本共産党大阪市議団は、大阪市を廃止・解体し、市民サービスを削減して、浮かしたお金を「カジノ」誘致や大型開発につぎ込むとしてい

る「大阪都」構想に、一貫して反対してきました。そして、市民のくらしと営業を守るため「維新政治ノ」の共同を広げ、変化をつくりだしています。

市民の反撃展開

日本共産党と自民、公明、民主系の野党4会派は共同して地下鉄・市バス民営化案や水道民営化案に待ったをかけ、府大・市大統合関連案を否決し、「統合」を延期させました。今年度補正予算では、校長公募の関連経費や「都」構想の広報費などを全額削除させ、市立幼稚園14園を廃止・民

営化する条例案も再否決しました。「思想調査」も市の訴訟提起が議会で否決され、「不当労働行為に当たる」と橋下市長を断罪した中央労働委員会命令が確定しました。

道筋なき都構想

「維新市政ノ」の市民的共同や、議会での野党共闘の強まりのなか、橋下「維新」の「都」構想は、その内容も実現の道筋も完全に行き詰まっています。

大阪市の廃止し、特別区に分割する「都」構想の制度設計案には、府市の議員らで構成する大阪府市特別区設置協議会(法定協)が開かれるた



橋下市長(左端)に「都」構想断念・撤回を」と迫る北山市議団長。5月14日、大阪市議会本会議

びに新たな疑問や批判が噴出。府と市の二重行政をなくして毎年4000億円を生み出す」とのうたい文句は絵空事と判明。党市議団は府市再編・統合によるものは9・4億円にすぎないことを指摘しました。橋下市長らはまともに答えられま

せんでした。

「都」構想議論が破たんするなか、橋下市長は今年3月、「出直し市長選挙」の暴挙に打って出たものの、投票率は史上最低。橋下氏の得票は2年前のダブル選の半分で、市民から「後押し」されるどころか批判が増幅しました。橋下市長自身も「都」構想について信任を得たと堂々と言えない」と述べざるを得ないところまで追いつめられました。

橋下市長は「出直し選挙で勝利した」として異常な強権的手法で「都」構想をこり押しする暴挙に出ました。「都」構想の「協定書(設計図)」を話し合う法定協から、気に入らない反対派議員の排除を強行し、維新単独で7月23日に「協定書」を決定しました。

日本共産党市議団は、橋下「維新」の民主主義破壊の暴挙に対して、市議会で「維新政治」を打ち破るために共同の形成に力を尽くしています。

7月25日に野党が要求していた臨時議会が開かれ、共産党や自民、公明、民主系の4会派が共同提案した「都」構想の「協定書」を無効とする決議が、無所属議員も賛成し、可決されました。

日本共産党市議団の北山良三団長は5月14日の本会議で「議論の行き詰まりを認め、出直し市長選の結果を謙虚に受け止め、「都」構想は断念・撤回を」と橋下市長に迫り

7月25日に野党が要求していた臨時議会が開かれ、共産党や自民、公明、民主系の4会派が共同提案した「都」構想の「協定書」を無効とする決議が、無所属議員も賛成し、可決されました。

共同広げ変化つくる

「思想調査」に対して民主団体はもとより連合町会などからも市民的な反